

国際多文化共生研究所の目的と使命

国際多文化共生研究所は、地球的規模の諸課題（貧困、開発、環境、教育、人権等）を多様な文化の理解と共生の立場で解決する事例に取り組む諸活動を、調査、研究、支援しています。特に現地の「衣・食・住・教育・宗教・文化・政経・他国地域との交易・協力支援の方法」などの視点で、情報収集、交流を行っています。

国際多文化共生研究所 会則

- 1、本会の名称を国際多文化共生研究所とする。英文名は、Global Institute for Multi-cultural Cooperation（略称 GIMC）とする。
- 2、本会は地球的規模の諸課題（貧困、開発、環境、教育、人権等）を多様な文化の理解と共生の立場で解決する事例に取り組む活動を、調査、研究、支援、提言することを目的とする。
- 3、本会は、思想・信条にとらわれず、目的の「国際的に文化の多様化のもとに共生する」ことを願い実行する会として運営する。
- 4、会員は、研究所の目的に賛同して、活動することとする。
- 5、会員は、国内外の関係団体との連携で、多様な文化の尊重と啓発を、それぞれ可能な範囲で、自主的に研究・支援活動を行なう。
- 6、本会は、若干名の運営委員にて会の運営を行なう。運営方法（活動・予算等計画・実施等）は、細則により定める。
- 7、本会の事務局を、福岡市早良区脇山1 - 15 - 12 せふりハウゼ内におく。

制定 1998（平成10）年5月25日

改訂 2004（平成16）年4月22日

* 当会は、1978年に関西にて「国際文教研究所」として主宰の角正信が、調査・研究・報告をしていたものを、福岡に移動して「国際多文化共生研究室」と名称変更していたものを母体としています。